

小松地域未来塾（小松中学校）【西条市】

～小松を担う子供達の未来のために～

◆活動の目的・理念

- 学習意欲や自己肯定感の向上を目指す。
- 楽しく学びを体験する。
- 故郷への愛着心や高揚を図る。
- 学習習慣の定着や学力の定着を図る。

活動場所	小松中学校 小松公民館	対象児童・生徒	小学5・6年生・中学生	対象学校 区名	小松小学校、石根小学校、 小松中学校
開催日数・ 曜日・時間等	平日(授業日)	0	日	:	～
	土・日・休業日等	3	日	夏,冬季休業中	
児童・生徒の 平均参加人数	30	人/日	学習支援員	4	人/日 教員OB、塾講師
協働活動サポ- ターのべ人数	0	人		ボランティア 延べ人数	27人 婦人会員、おやじ部員、立志隊
活動内容	宿題や予習・復習の学習支援、学習習慣の育成、学習相談への対応、体験学習			参加者募集	各学校を通じてポスター、チラシを配布し、希望者を登録

取組の概要

<主な取組内容>

- 夏休み出前講座(東予高校・西条高校)・大学生によるプチ授業
木工教室「ペン立て作り」や輝安鉦入りボールペン作り体験。
- 冬休みインターバル学習・ようこそ先輩・eスポーツ・昼食作り
宿題や自主学習の学習支援、eスポーツ体験、高校生によるワークショップ
- 学校や家庭との連携
学校を通じて実施内容と参加申込書の配布・回収。
- 地域や家庭への広報
公民館だよりに小松地域未来塾(小松中学校)の開催状況を掲載



(西条高校生による輝安鉦ボールペン作り指導)

児童・生徒の感想

- ・ノコギリで木を真っすぐ切るのが難しかったです。貴重な体験ができて良かったです。
- ・輝安鉦ボールペン作りで初めて輝安鉦について知ることができました。
- ・分からないところを丁寧に教えてもらえてよかった。
- ・休憩時間にチャレンジカフェでリフレッシュできた。
- ・昼食の牛丼と七草がゆが美味しかった。
- ・中学校あるあるクイズで中学校の事が知れて良かったし、楽しかった。



(インターバル学習法による学習)

<特色のある取組>

学び:「インターバル学習法」をみんなでやってみよう!

インターバル学習法とは、勉強(15分)+休憩(5分)=1セットを繰り返すことで効率よく勉強がはかどる勉強方法。

教員OBの先生や地域の方々、地域の小学5・6年生と一緒に楽しんで学ぶ。

協働:小松婦人会による昼食(牛丼・七草がゆ)の提供

立志隊によるカレー作り指導

事業を実施して

【成果】

- 意欲的に学習した生徒は、理解が深まり、学習の成果が上がった。
- 学校やPTA、団体などと連携した活動内容になり、地域で支えていることが実感できた。
- 次年度中学に入学する小学6年生は、中学校あるあるクイズで中学生生活について楽しく知ることができた。

【課題】

- 部活の大会などを考慮し、中学生が参加しやすい時期(夏休み)の実施が望ましい。
- 開催場所は、部活終わり等、生徒たちも参加しやすいので、中学校開催が望ましい。
- 教科別の指導員の確保(特に英語)
- 大学生等の指導員の確保が課題。